

# 藤井寺市における若年層の継続的誘致の仕組みづくり

阪南大学 国際観光学部 清水ゼミ  
市原 怜奈 片岡 昌也 佐野 裕人  
倉本 篤 田中 慎之介 山本 紗希

## 目次

### 1章 はじめに

- 1-1. 研究の背景
- 1-2. 研究の目的
- 1-3. 研究方法

### 2章 事前調査

- 2-1. 藤井寺市の概要と歴史
- 2-2. 観光客の動向
- 2-3. 事例研究

### 3章 現地調査

- 3-1. 藤井寺市との話し合い
- 3-2. 藤本雅一酒造醸について
- 3-3. 分析

### 4章 ツアー内容

### 5章 今後の課題とまとめ

# 1章 はじめに

## 1-1. 研究の背景

現在、藤井寺市では古市古墳群を世界遺産へ登録する取り組みが進められている。堺市の百舌鳥古墳群とともに、平成22年11月には百舌鳥・古市古墳群としてユネスコ世界遺産暫定一覧表に記載された。世界遺産に登録されると多くの集客が見込まれるが、藤井寺市の観光客の受け入れ態勢は不十分な点が多い。また、特産品なども目立った商品がないため、経済効果が期待出来ない。

藤井寺市役所山田氏は、「たくさんではなく継続的に、また若年層の観光客を増やしたい」と述べた。

図-1 藤井寺市の位置



## 1-2. 研究の目的

文化遺産が多く、若年層が目向けにくい藤井寺市で、どのようにすれば継続的に、また若年層の観光客に訪れてもらうことができるかを検討する。

(出展：大阪ナビ)

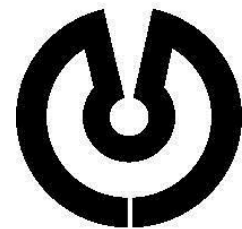
## 1-3. 研究方法

- ・インターネット、資料での調査
- ・現地調査
- ・ヒアリング調査

# 2章 事前調査

## 2-1. 藤井寺市の概要と歴史

大阪府南河内地域に位置し、面積は8.89k㎡と大阪府下で最も面積の小さい市であり、総人口は66,493人で世帯数が28,680世帯(平成27年1月末現在)であり、縄文時代、弥生時代の遺跡が多く見られる歴史の古いまちである。金剛系、和泉山系に源を發す石川と大和川から段丘地形が發達し、5世紀ごろには津堂城山古墳、古室山古墳、鍋塚古墳など数々の古墳が築造された。室町時代には観音信仰が盛んになるにつれて、西国三十三カ所五番札所である葛井寺の門前町として發展してきた。さらに、江戸時代には堺の経済商業圏に入っており、堺に通じる長尾街道はかなり繁榮した。大正時代には藤井寺市



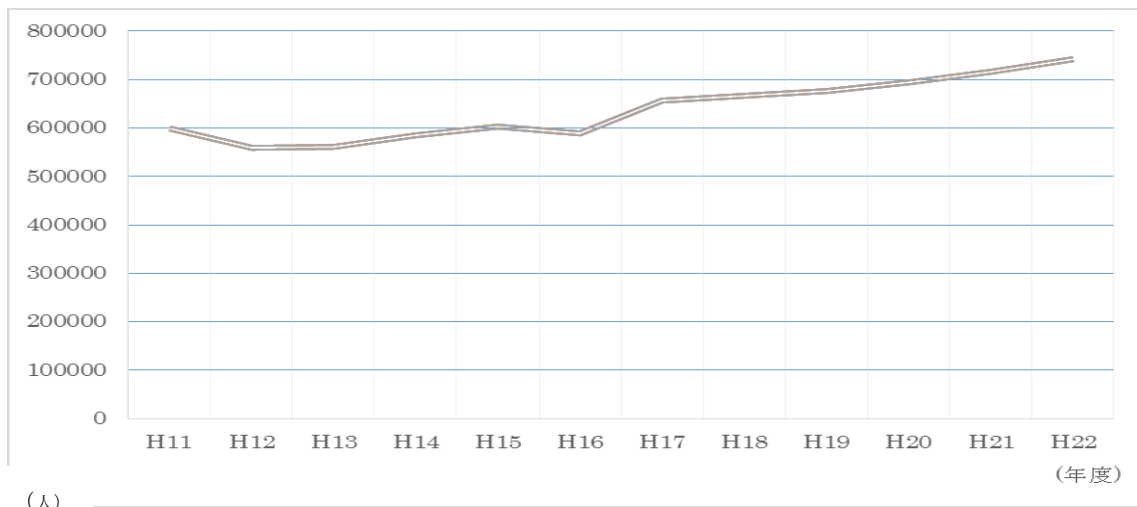
の基礎である藤井寺村が形成され時代とともに発展し、昭和時代になり藤井寺市として市制を施行された。

現在の藤井寺市は羽曳野市、堺市と共に百舌鳥・古市古墳郡を世界遺産登録に向けて準備をしている。

## 2-2. 観光客の動向

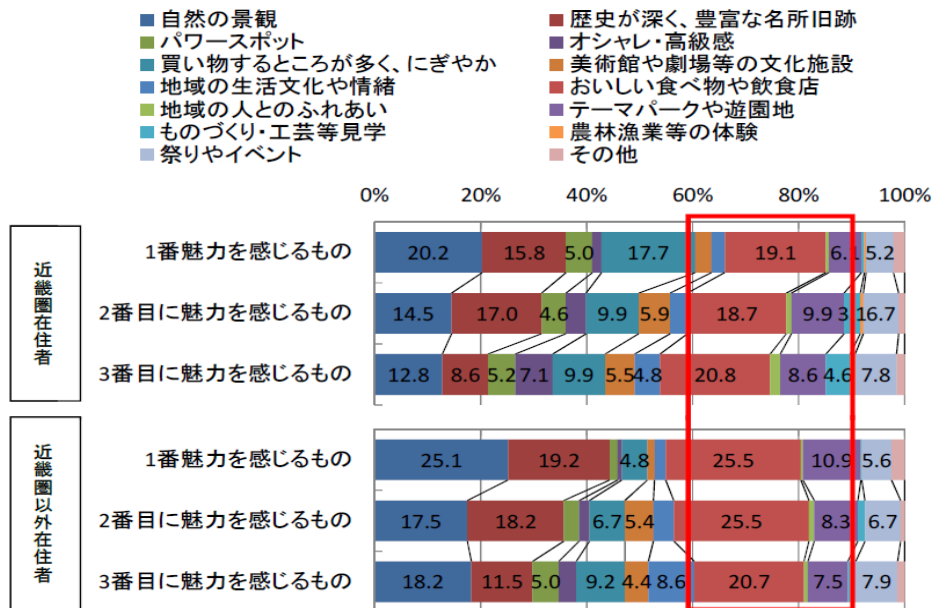
藤井寺市を訪れる人の動向をグラフ別に読み解き、課題解決に繋げる。

表-1 藤井寺市の観光客の推移



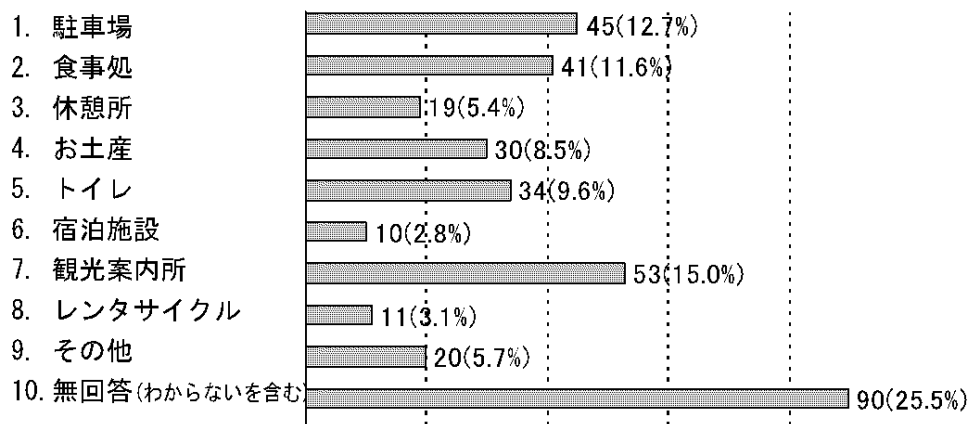
(出典：大阪府観光統計調査)

表-2 何に魅力を感じて旅行する先を選ぶか



(出典：藤井寺市まちなか観光創造プラン)

表—3 藤井寺市を観光する上で必要と感じるもの



(総回答数 353)

(出典：平成 22 年度 藤井寺市の観光に関する意識調査)

表 1 より、平成 11 年度から平成 16 年度までは下降もしくは、横ばいの数字が続いているが、平成 17 年度以降は増加を続けている。月別の観光客数は 1 月、4～6 月、8 月において多くなっている。1 月は道明寺天満宮で初詣と初天神うそかえ祭、4 月以降は葛井寺で開催される藤まつり、8 月は千日まいりによるものと推察される。

表 2 では、近畿圏内・圏外問わず観光客は飲食情報や自然を魅力に感じ旅行先を選択するとされている。しかしながら表 3 より、藤井寺市を訪れた観光客が観光する上で必要だと感じるものの中に食事処をあげている。実際には 400 以上の飲食店があるにも関わらず、飲食店の情報が希薄だと考えた。

### 2-3. 事例研究

#### ・酒蔵ツーリズム

酒蔵ツーリズムとは、酒蔵開放や酒蔵体験、日本酒をテーマにしたイベント、スタンプラリーなどの仕組みづくり、外国人向けツアーのプロデュースなど実施規模も運営主体も異なる様々な取り組みや他の観光資源との連携を目指すものである。

佐賀県鹿島市では、市内で製造される酒類と地域が持つ文化や歴史を合わせ国内外へと情報発信するとともに、鹿島市へ誘致するあらゆる取り組みを行い、蔵元だけでなく鹿島市の地域全体への活性化に寄与することを目的とし、全国に先駆けて「鹿島酒蔵ツーリズム推進協議会」を設立し、「鹿島酒蔵ツーリズム」を推進している。

鹿島の酒蔵を巡り、蔵人と触れ合い、彼の造る酒を味わう。その酒が生まれた土地を散策しながら食や文化、歴史を全身で楽しむ。「鹿島酒蔵ツーリズム」とはそんな旅のスタイルである。

協議会設立後、今後の取組みをどうしていくか月 1 回程度協議会を開催し、市内の酒蔵や地域の食や文化を紹介するパンフレットを作成した。また、鹿島の酒の PR 及びその生ま

れたまちを楽しむ取り組みとして、「第1回鹿島酒蔵ツーリズム」を平成24年3月24日、25日の2日間開催し、鹿島市の人口とほぼ同じ約3万人が訪れた。

## 3章 現地調査

### 3-1. 藤井寺市との話し合い

2014年12月15日(月)、藤井寺市役所の山田氏・角野氏・小坂氏に藤井寺市の現状を伺い、今後の展望についての話し合いを行った。市役所の方々は、藤井寺にどのような方法で継続的に若者を惹きつけるのかを考えている。藤井寺市は、市の地産がないこと、PRが出来ていないこと、唯一訪れる観光客も高齢者が多く若年層の来訪者数が少ないことを問題点として挙げていた。話し合いの結果として、若年層を惹きつける為に、ツアーの企画や学生ならではのアイデアを考えるという方向性となった。

問題解決に向け、大正2年から藤井寺で続く酒蔵に焦点を当て、鹿島市の例を基に酒蔵を活用したツアーの作成を考えた。また、口コミでの発信力が強い女性をターゲットとし継続した観光客を育てるようなツアー内容にする。

### 3-2. 藤本雅一酒造醸について

藤本雅一酒造醸(以下、藤本酒造)は、もとは河内木綿の製造業を行っていたが、金剛山や、生駒山などの自然豊かな藤井寺で良質の地下水となって近くの山々から流れている水脈を清酒造りに利用できないかと考え、大正2年に創業し、自作の米と合わせて酒造づくりに転身した。戦時中は、物資不足や、設備維持のために南河内の酒造業者が集まり酒造業を続けていたが、昭和23年に個人企業の清酒製造業の免許が復活されること



写真-1 藤本酒造醸

になり、藤本酒造でも免許の復活を果たした。当時14件あった酒造業者も現在は藤本酒造1社になり、南河内でも2社のみとなっている。現在でも冷房や、冷蔵庫など機械的な設備は使わずに、すべて手作業で製造し、最低でも2~3年貯蔵し、土蔵で販売できる日が来るまで置いておく。製造された清酒は、大手流通や卸業者にはしておらずほとんどの商品を直売りでやっている。

平成27年1月7日に藤本酒造を訪れ、藤本泰代氏は、酒造を広めるために、酒造組合や、地域のイベントなどへの参加や、酒蔵コンサートも行っており、3月15日に行われる「ふじいでら手づくり市」でも、スペイン料理屋と酒蔵ランチの提供を行う。通常、臨時に販

売場を設けて清酒を販売する場合は、期限付酒類小売業免許を取得しなければならないなど手間がかかるが、藤本酒造では清酒を広めるためにできるだけ多くのイベントに参加するように心がけている、と述べた。

### 3-3. 分析

日本酒の出荷量は年々減少しているが、一方でこれから若年層における日本酒のニーズが高まっていくとも考えられており、日本酒での乾杯を勧める自治体も増加傾向にある。

日本酒の女性ファン獲得のために、日本酒における美容効果を広めることを目的としたツアーを作成することを考えた。それに付随し、藤井寺駅周辺を調査した結果、辛國神社の参道が緑に囲まれ「大阪みどりの百選」にも選ばれ、自然を感じることができるスポットだということ、美の神として市杵島姫命（いちきしまひめのみこと）が祀られていることも分かった。また、地元住民のロコミで藤井寺商店街に日本野菜ソムリエ協会に認定されているうどん屋・掌（たなごころ）があることが分かった。全てが藤井寺駅周辺でもあり、神社・店舗同士も隣接していることからこの3つを巡るツアーを作成した。

#### ■ 辛國神社について

468年に雄略天皇の御代に創建され、式内社として人々の尊信を集めてきた神社である。その後587年に今の辛國神社と名前を改名した。饒速日命・天児屋根命・素盞鳴命・品陀別命・市杵島姫命の神様が祭られており、神社すべてで安らぎを感じることができる場所である。市杵島姫命は須佐之男命の剣から生まれた神である。とても美しく、美の神様として祭られている。



写真2 辛國神社

#### ■ 掌について

2013年2月に開業した、野菜ソムリエの資格を持つ夫婦が営む日本野菜ソムリエ協会認定レストランのうどん屋である。地元住民から人気があり、昼時には満席になり店外に列ができることもある。野菜をふんだんに使ったうどんをメインとし、月替わりメニューが用意されている。オーナーの堂脇氏は、月替わりメニューは人気でも通常メニューの転換はせず、常に独創的でうどんの枠に囚われないメニューを開発している。店内は12席しかないが、ふたりで店を回すには限界の人数である、と述べた。



写真3 掌

## 4章 ツアー内容

ヒアリング調査の結果から話し合いを行い、どのような話をすれば観光客からの興味を惹けるか、またツアーの催行がスムーズに行えるかを考えた。また、藤本酒造・掌では観光客が生む経済効果の仕組みづくりのために、お土産をつける、またそこで食事を行うことを絶対条件とした。

以下のようにこのツアーを企画した。

### 藤井寺まちあるきツアー企画書

- 〈目的〉 若年層の藤井寺市への観光客数増加を目的とする。  
ターゲットを女性に絞り、美容効果を得ることが期待される藤井寺市のスポットを回るツアーを作成する。
- 〈ツアー名前〉 癒しの美彩・美酒モニターツアー
- 〈主催団体〉 藤井寺市
- 〈企画・運営〉 阪南大学国際観光学部清水ゼミ
- 〈日時〉 平成27年3月21日（雨天決行）
- 〈募集人数〉 10名（最少催行人数 4名）
- 〈参加料〉 1500円（うどん代、お土産、保険込み）
- 〈会場〉 辛國神社 藤本酒造醸 掌（たなごころ）
- 〈内容〉 緑溢れる辛國神社で非日常的空間を感じ安らげる場所を提供する。また辛國神社に奉られている「美の神」である市杵島姫命にまつわる話を神主様にさせていただく。その後藤本酒造醸に移動し、酒蔵見学をし、酒造りについてお話していただき、一通り見学を終えた後、利き酒を行い、その際に日本酒の美容効果に関する話を行う。〈終了後におみやげを配布（いのまなり一合）〉  
その後掌に移動し、野菜をふんだんに使用したうどんを提供していただき、ここでも使用した野菜の美容効果や、ベジファースト、麦ごはんについてのリーフレットも作成し配布する。
- 〈スケジュール〉 12:30 藤井寺駅集合  
12:40 辛國神社（移動含む45分）
- 辛國神社の基本的な参り方
  - 美の神様、市杵島姫命のついでの説明
  - 筑前琵琶演奏会



13:25 藤本酒造醸（移動含み1時間5分）

- 酒蔵の歴史についての説明
- 日本酒の美の効果の説明
- 日本酒の試飲

14:30 掌

- 店舗の紹介
- 美容効果のある野菜の説明
- このツアーのために作成された美容効果のある野菜をふんだんに使用したうどんを食べ、食事が終わった人から随時解散



図1 (筆者作成)



## 5章 今後の課題とまとめ

今回はモニターツアーという形式で行う。参加者にアンケートの依頼をする。なぜこのアンケートを依頼するのかは、このツアーがモニターツアーのため、企画者の立場では気付けないことや、改善点を見つけるためである。このツアーの満足度を向上させるため、アンケート結果を分析しこの経験から、内容を向上させるために良い点・悪い点を見据え、整理し、今後に生かすことが課題である。これを行うことにより、今後の課題が明確になると考える。また、今回はモニターツアーとして、筆者の友人や、藤井寺市役所の方に参加を募ったが、このツアーを定期的に開催するために、PR方法を考えることも、重要である。

このツアーを開催することにより、日本酒の良さや神社の存在意義、野菜の大切さを若年層に伝えることもでき、女性に対しては美を楽しみ、堪能してもらうこともできる。また、定期的に続けることにより、藤井寺市としての知名度が上昇し、若年層の観光客が増加する。ツアーを継続的に開催するには、藤井寺市との連携と協力が必要不可欠となってくる。現在、受け入れ態勢が不十分な藤井寺市にも観光客の受け入れ態勢の働きかけを行い、きちんと整えることが最大の課題である。このツアーを成功させることにより、藤井寺市に若年層の観光客を誘致し、地域活性化の糸口となればと考える。

### 引用・参考資料

- ・宝酒造 日本酒に関する意識調査

[http://prw.kyodonews.jp/prwfile/release/M000170/201309194744/\\_prw\\_OA3f1\\_7WUGpCoP.pdf](http://prw.kyodonews.jp/prwfile/release/M000170/201309194744/_prw_OA3f1_7WUGpCoP.pdf)

- ・国税庁 酒のしおり

<https://www.nta.go.jp/shiraberu/senmonjoho/sake/shiori-gaikyo/shiori/2014/pdf/006.pdf#page=1>

- ・藤井寺市 公式ホームページ

<http://www.city.fujiidera.osaka.jp/>

- ・辛國神社 公式ホームページ

<http://www.karakunijinjya.jp/>

- ・掌 Face book

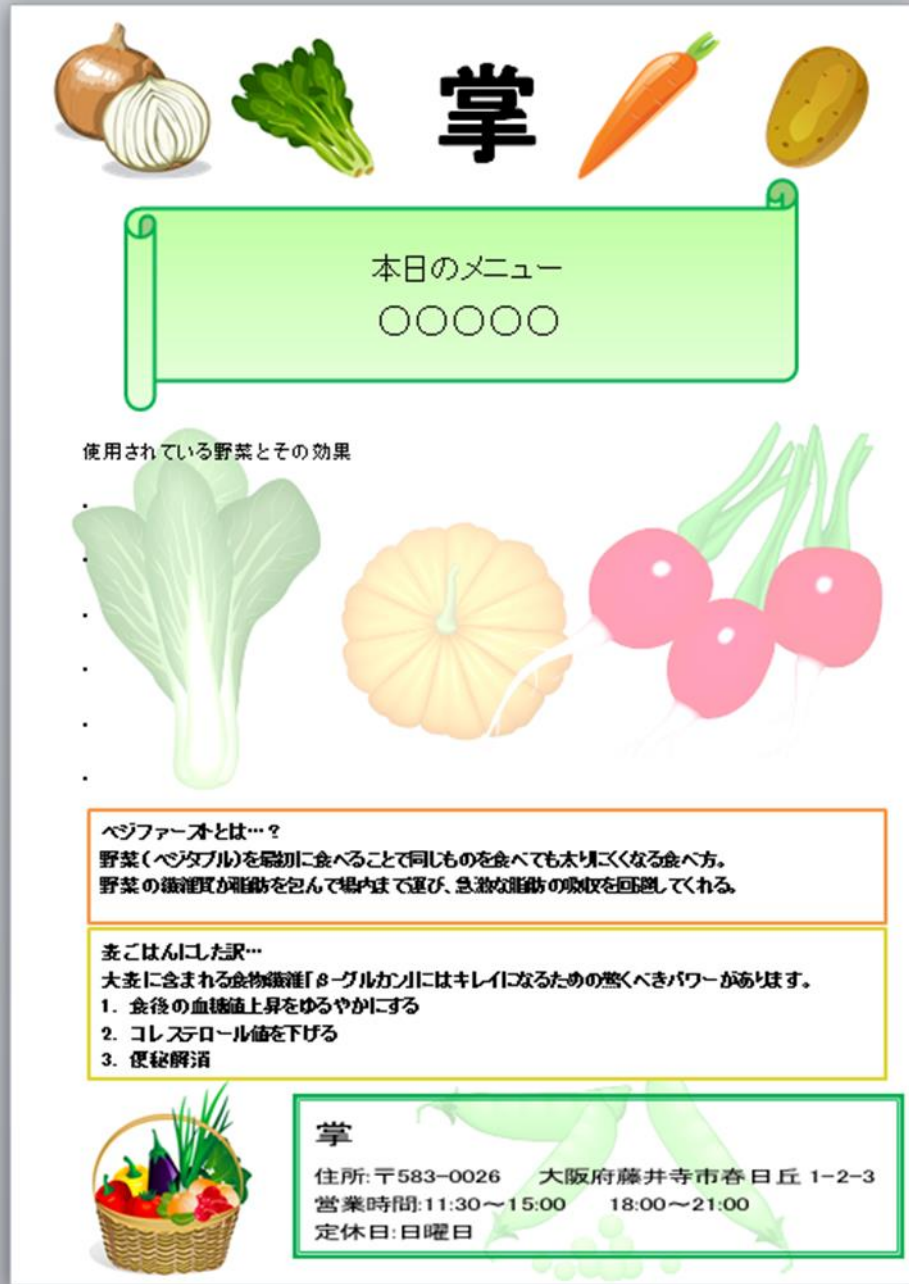
<https://ja-jp.facebook.com/tanagokoro123>

- ・鹿島酒造ツーリズム

<http://sakagura-tourism.com/main/>

資料

掌で配布するリーフレットの見本



The leaflet is titled "掌" (Tenji) and features illustrations of various vegetables including onions, leafy greens, carrots, and potatoes. A green scroll displays the text "本日のメニュー" (Today's Menu) followed by five empty circles. Below this, the text "使用されている野菜とその効果" (Vegetables used and their effects) is followed by illustrations of bok choy, pumpkin, and radishes. Three informational boxes provide details: "ベジファーストとは…?" (What is Vegi-First...?), "まごはんにした訳…" (Reason for using mamehitoe...), and contact information for "掌" (Tenji) including address, hours, and days off.

掌

本日のメニュー  
○○○○○

使用されている野菜とその効果

ベジファーストとは…?  
野菜(ベジタブル)を最初に食べることで同じものを食べても太りにくくなる食べ方。  
野菜の繊維質が脂肪を包んで腸内まで運び、急激な脂肪の吸収を回避してくれる。

まごはんにした訳…  
大豆に含まれる食物繊維「β-グルカン」にはキレイになるための驚くべきパワーがあります。  
1. 食後の血糖値上昇をゆるやかにする  
2. コレステロール値を下げる  
3. 便秘解消

掌  
住所: 〒583-0026 大阪府藤井寺市春日丘 1-2-3  
営業時間: 11:30~15:00 18:00~21:00  
定休日: 日曜日